

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔青果〕 （店長）	・朝晩が少しずつ冷え込んでおり、客の購買意欲も上向き始めている。販売比率の高いかんきつ系果物の量が増えてきたので期待できる。		
		スーパー（企画担当）	・競合店の閉鎖による顧客拡大に加え、新店・改装店舗のオープン効果により、売上は伸長する。既存店の売上も回復傾向にある。		
		家電量販店（総務担当）	・地上デジタル放送のエリアが拡大し、薄型テレビの価格が低下しているため、購買意欲が上昇する。		
		家電量販店（企画担当）	・家電関係商品の動きがだんだんと良くなっている。		
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油仕入価格の値上げが予想されるが、冬場の灯油を含め需要時期については例年のような推移が予想されるため、全体的な消費傾向は上向く。		
		一般レストラン（スタッフ）	・当店の目玉であった地ビールがなくなったために減少した来客数は、下げ止まりの傾向にある。今後も地ビール以外の料理等を目的とする客が増える。		
		観光型ホテル（営業担当）	・地域で行われる会議やイベントに伴い、宿泊及び会議関係の予約が増えている。特に、農業団体は他の業種に比べ景気が良い。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況が例年を上回っているため、今後は良くなる。		
		テーマパーク（職員）	・大型団体の受け入れやのゴルフ大会等のイベント、プロ野球チームの秋キャンプがあるため、来客数は増加する。		
		ゴルフ場（従業員）	・10、11月に団体客、大きなコンベの予約が入っており、入場者数は緩やかに増える。		
		競輪場（職員）	・例年は発売額、入場者数共に減少傾向がみられるが、現状を維持しているため、今後も好調に推移する。		
		変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・ガソリンの値上げで商品の粗利がますます低くなる。商品の値上げによって客の買い控えも出てくる。
				商店街（代表者）	・客の様子をみると、年金問題や将来不安があり、個人消費がなかなか伸びない。これからも悪い状態が続く。
				商店街（代表者）	・近隣にスーパーやコンビニ、大型商業施設などがひしめき合い、競争が激化しており、厳しい状況が続く。
商店街（代表者）	・衣料品の動きが少し良くなる。				
商店街（代表者）	・郊外型大型店の競争激化により、中心街への来客数の減少傾向が続く。				
百貨店（営業担当）	・金券交換の時期であるが、出足が今一つである。金券を手にしても即日に金券を使用する人が減少している。現金、金券を手元に置き、目的買いのために備蓄する傾向が強まっている。一方、粗品付ダイレクトメール催事の来店客は多い。今後もこの状況は続く。				
百貨店（営業担当）	・9月の反動で若干秋物衣料が動くが、全体としては横ばいである。				
百貨店（業務担当）	・秋冬物の立ち上がりが遅くなっているが、反動で売れる状況でもなく、厳しい。				
スーパー（店長）	・食の安全に対する問題等があり、消費量は伸長しない。特に消費者の国産志向を考えると、輸入食材が少なくないスーパー業界の先行きは楽観できない。				
スーパー（店長）	・9月末に競合店が出来、価格競争となっており、厳しい状況である。				
スーパー（店長）	・長引く残暑等、気候異変により消費が落ち込んでいる。食の安全に対する問題等で消費マインドも減少しており、今後も厳しい状況が続く。				
スーパー（総務担当）	・食料品等、必要最低限のものについては前年並みに推移しているが、衣料品については天候、気温に左右されやすく、購買意欲の上昇はうかがえない。今後も同様に推移する。				
スーパー（総務担当）	・原油高による諸物価の高騰により、購買力がだんだん先細りになっていく。				
スーパー（経理担当）	・食品関係は中国産や安全衛生に対する不安、激化する競争などマイナス要因が多く、やや悪い状態が続く。				

	コンビニ（エリア担当・店長）	・残暑が続き、売上は前年より回復してるが、急に寒くなった時に反動で前年割れとなる兆しがある。また、競合店が11月に改装オープンするため、それ以降の動きは不透明である。
	衣料品専門店	・商店街に来る客の絶対数が減っており、当店への来客数が減少している。今後もこの状況が続く。
	衣料品専門店（店員）	・プロ野球関連のセールが予定されており、秋物のセールで一時はにぎわう。しかし徐々に寒くならないと季節商材が売れず、販売量が減る。
	衣料品専門店（店員）	・人口に対して店が非常に多く、物があふれている。12月はセールに入るが、客の目は厳しく財布のひもは固いため、厳しい。
	衣料品専門店（総務担当）	・来客数の減少が続いており、今後も増加は見込めない。
	家電量販店（店員）	・売れている商品と売れなくなった商品がはっきりしてきている。プラズマテレビ、液晶テレビ等の薄型テレビの売上は非常に伸びているが、OA機器の売上が減っているため、総じて変わらない。今後も同じ傾向で推移する。
	家電量販店（店員）	・各家電製品で新製品が出てくるため、購買意欲が高まる。しかし、今は現状維持がやっとなで、足踏み状態がしばらく続く。
	乗用車販売店（販売担当）	・来客数、販売量共に急激に回復するとは思えず、このままの流れが当分続く。
	住関連専門店（経営者）	・秋口に向け催事キャンペーンを計画しており、来客数の増加が期待できる。
	観光型ホテル（スタッフ）	・婚礼、一般宴会の予約が前年に比べ鈍い。
	都市型ホテル（副支配人）	・単価が伸びず、単価交渉が増えており、今後もこの状況が続く。
	旅行代理店（従業員）	・運休路線の増加と小型機材の使用により航空座席が取りにくくなっている。
	通信会社（管理担当）	・受注の引き合いが芳しくない。今後も同様の傾向が続く。
	通信会社（業務担当）	・10月はキャンペーンと新サービス受付により来客数の増加は見込めるが、品ぞろえの弱さから新規・買換え需要は伸びない。
	住宅販売会社（従業員）	・土地開発関係の問い合わせが非常に減っており、頭打ち状態である。一般客の問い合わせもあるが、要求の土地価格が非常に安いいため、景気としては良くない。今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・石油価格の上昇が物価に影響しており、値上げを余儀なくされた家庭の必需品や食料品の動きが鈍くなる。
	商店街（代表者）	・衣料品関係は天候で左右されるため、このまま異常気候が続けば厳しい。また年配の客が多い商店街では、税金問題等で客の財布のひもが固く、今後も厳しい。
	百貨店（営業担当）	・自社の増床オープンから1年を経過したが、周りの商店街では空き店舗が増えており、自店も厳しい状況となっている。この傾向は更に強くなる。
	百貨店（営業担当）	・原油の値上げによる生活用品や食料品の値上げが懸念され、消費者の購買意欲は低下している。
	百貨店（売場担当）	・物価上昇や原油高、ユーロ高等による商品の仕入れ価格の上昇が見込まれる。消費税問題等で消費意欲が落ち、特に年配の客は財布のひもが固くなる。駅の周辺ではヤング衣料等の売上が良く、客層をファミリーに設定している商業施設では前年割れが続いている。今後も厳しい状況が続く。
	スーパー（店長）	・原油価格の高騰等により雑穀類、油、マヨネーズ、ラーメン等の値上げがあり、購買意欲が低下している。
	コンビニ（エリア担当）	・今年の秋に大型スーパーの出店が相次ぎ、近隣の店舗に大きな影響がある。営業時間も長く、コンビニの客層も流れることが予想され、厳しい状況が続く。
	乗用車販売店（従業員）	・整備の入場台数が減り、売上が減少してきている。
	都市型ホテル（総支配人）	・新規競合店の出店で受け入れ施設は増加するが、需要の拡大要因となる情報はなく、競争が激化する。
	タクシー運転手	・タクシー料金の値上げがあり、今後タクシーの利用を控えたいという声が多く、乗車客は減少する。

	通信会社（企画担当）	・競合他社の販促施策強化の情報もあり、競争の激化と販売量の減少が見込まれる。		
悪くなる	スーパー（店長）	・10月に競合店の新規出店計画があり、地域の競争がますます激化する。		
	コンビニ（店長）	・観光客が減少しており、当店への来客数の増加は見込めない。		
	コンビニ（販売促進担当）	・客の様子をみると、おやつを節約していく傾向がある。またパンの売上も減少傾向にあり、厳しい。		
	衣料品専門店（店長）	・猛暑が続き、秋物衣料に期待ができない。売上不振はしばらく続く。		
	高級レストラン（経営者）	・予約が少なく、かなり厳しい。11月後半から12月の週末にかけて早々と忘年会の予約は入ってきているが、平日の動きがかなり鈍い。		
	高級レストラン（経営者）	・秋の行楽シーズンの団体客の予約状況は、前年と比べ非常に悪くなっている。		
	高級レストラン（専務）	・大型商業施設がオープンするため、中心市街地の客がまた少なくなり、厳しい状況が続く。		
企業 動向 関連	良くなる			
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・海外以外の製品で少量単位の仕事が少しずつ増加している。	
		不動産業（従業員）	・福岡市内の住宅地の平均価格も上昇に転じている。また、住宅販売も好調に推移する。	
		その他サービス業〔物リース〕（従業員）	・案件の引合件数は底堅く推移しており、ユーザーの設備投資意欲は落ちていない。	
	変わらない	農林水産業（経営者）	・加工メーカーが年末年始用の生産時期に入り、原料肉の要望が出てきている。特に今年は中国等の輸入物に対する不安から国産志向が高まっている。	
		食料品製造業（経営者）	・受注量が順調であっても、原材料価格の高騰が進むため、景気は良くはならない。	
		食料品製造業（経営者）	・納入先の来客数は前年並みであるものの、客単価がやや下降気味である。しかし、イベントやキャンペーンなど来客数増加の要因も見受けられるため、総じて変わらない。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注量、販売量はいくらか良くなるが、燃料であるガスが冬にかけてますます高騰するのではないかと懸念している。	
		金属製品製造業（企画担当）	・当事業の売上は下期に増加する傾向にあり、今年も例年通り下期は好調に推移する。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・コスト割れでも仕事量を増やす以外には仕方がない状況である。半導体業界も競争が激しくなっており、先行きの景気は悪い。	
		金融業	・取引先の様子をみると、中小企業を中心に業況が悪い。一方、大企業は安定しており、全体としては変わらない。	
		金融業（営業担当）	・取引先の中小零細企業の経営者は、いまだ設備投資には消極的な姿勢である。好業績の大企業とは格差が出てきている。今後もこの状況が続く。	
		金融業（得意先担当）	・取引先の業者をみると、工事は多少あるが、かなり厳しい状況となる。また金利が上昇傾向にあり、各業者から厳しいという声が多く聞かれる。	
		金融業（調査担当）	・当面、高水準の受注が見込まれる。	
		新聞社（広告）	・広告主の広告予算等をヒアリングしたところ、景気が良くなるような傾向は見当たらない。	
		やや悪くなる	繊維工業（営業担当）	・受注は安定してきているが、原油の値上がりにより原材料が高騰しており、この先厳しい状況が続く。
			鉄鋼業（経営者）	・九州地区内の建築需要は相変わらず堅調であるが、6月20日に施行された改訂建築基準法の影響により、新規建築物は総じて大幅な遅れが生じている。需要はあるが、なかなか動かないという空白状態が当分続くのではないかと懸念される。
			電気機械器具製造業（経営者）	・金型関連や精密機械部品関連に不透明な状況が出ている。9月の中旬くらいから動きが非常に悪くなっており、先行きが心配される。
			建設業（総務担当）	・手持ち工事の現場の動きがピークになってくる。しかし、新規受注がないため、これから先は不透明である。
輸送業（従業員）			・10月にまた軽油価格が上がり、トラック事業者にとって死活問題になっている。価格転嫁は難しく、省エネにも限度があり、同業者・荷主も同様に厳しい経営環境下にある。	

		輸送業（総務担当）	・衣料品の荷動きが特に悪く、また食料品の動きも悪い。しばらくはこの悪い状況が続く。
		不動産業	・不動産は、住宅供給過多の状態である。
	悪くなる	農林水産業（従業者）	・資材等の値上げがあるが、それを販売先に要請してもなかなか了承が得られず、非常に厳しい。今後も厳しい状況が続く。
		建設業（従業者）	・建築確認業務が今まで以上に期間を要し、なかなか確認がおりないため、融資にも時間が掛かり進行しない。オーナーサイドも設備投資を見合わせており、これからもこの状況が続くため、景気はなかなか良くならない。
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・企業規模、職種を問わず求人件数が増加している。特に管理職クラスが好調で、今後も求人件数の増加が見込める。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・年末にかけて、単発ではあるが求人の動きが見込める。また大型スーパーの出店に伴い、既存の店舗でも何らかの対応がある。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・これから年末商戦に向けて、食品製造の求人が活発になる。また、物流及び流通の求人も活発になる予定である。アルバイト、パートでの採用やアウトソーシング等で短期間のニーズが高まってくる。
		職業安定所（職員）	・今年度に入り一般求人数は増加傾向にあるが、その内容はパート、派遣、請負求人の占める割合が大きい。10月に100人強の求人予定があるところもパート、契約社員であり、多くの求職者が希望する正社員求人の増加がほとんどない。この傾向は当分続く。
		職業安定所（職員）	・当面大きな変化はないが、自動車関連の事業所が進出してきたことにより、関連の中小企業の進出が相次いでいる。操業はまだ先になると思われるが、将来は明るい。
		職業安定所（職員）	・ここ数か月間の新規求人数の動向は、横ばい状態が続いている。正社員求人についても非正規社員求人の正社員求人への移行等が見られず、顕著な変化がない状態が続いている。
		学校〔大学〕（就職担当者）	・企業側の求人意欲は現状でも高く、2、3か月後も高水準で推移する。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・企業内統廃合や派遣受け入れ中止等が予想されることから、求人の減少が見込まれる。
		職業安定所（職員）	・好調な出足となった来春高校卒業予定者に対する学卒求人が減少している。
		民間職業紹介機関（支店長）	・年末にかけての需要が昨年よりも遅く、かつ注文数もやや減少気味である。特に長期派遣需要が減少している。競争の激化と価格ダウンが懸念され、求人コストの上昇もマイナスに作用する。
	悪くなる	-	-